

ほくりく地盤情報システム
登録データ提供マニュアル
(案)
【発注機関確認編】

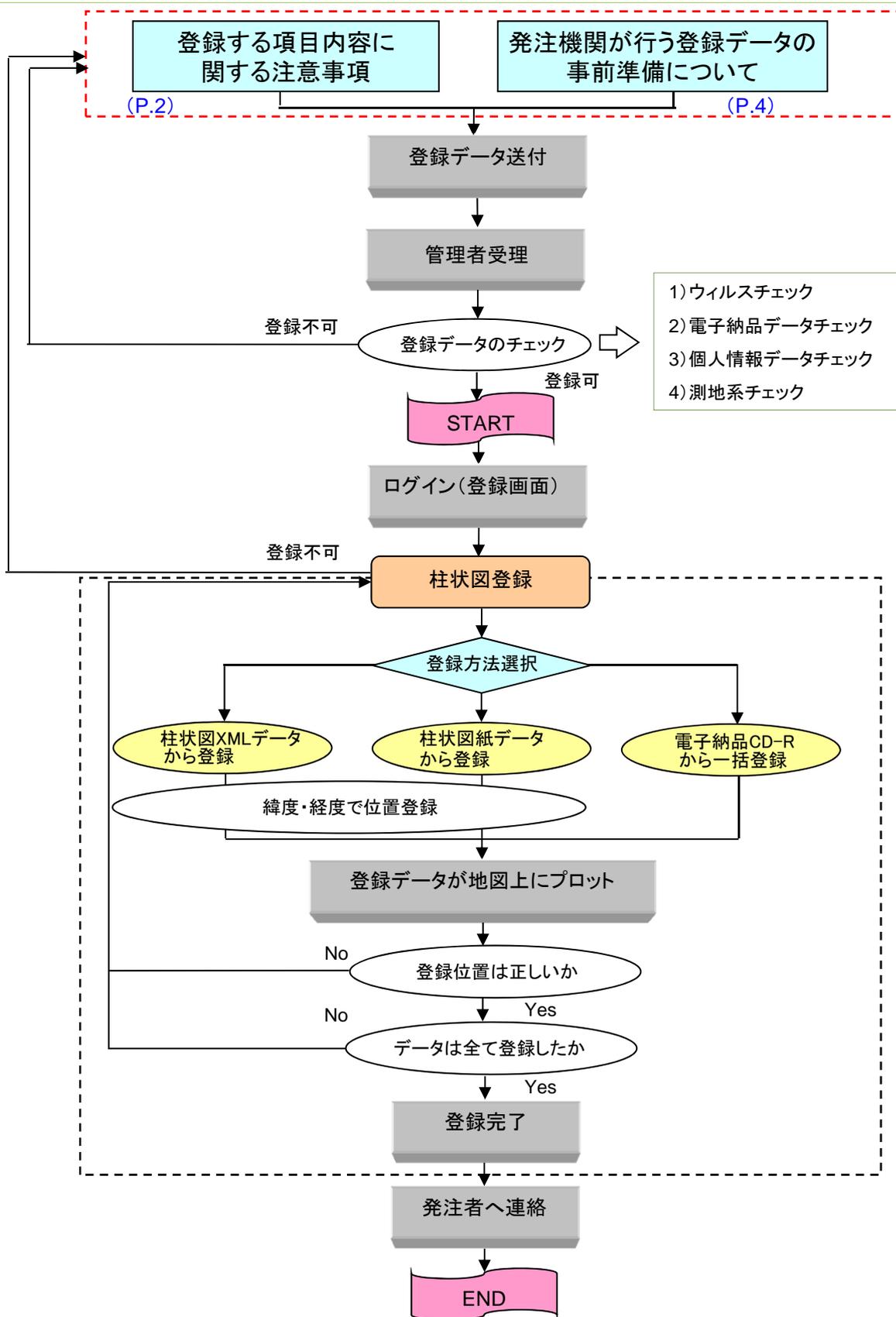
平成26年3月版

北陸地盤情報活用協議会

目 次

1. 登録フロー図	1
2. 登録する項目内容に関する注意事項	
(1) 個人情報について	2
(2) 測地系について	3
3. 発注機関が行う登録データの事前準備 について	4
【参考①】 電子納品データ一覧表の作成	5
【参考②】 チェックシート（記入例）	6
【参考③】 紙データの場合の電子化作業	7
【参考④】 日本測地系から世界測地系への変換方法	8
4. 添付資料	
1) 「ほくりく地盤情報システム」データ登録依頼票	9
チェックシート	
2) 電子納品データ一覧表	10

1. 登録フロー図



2. 登録する項目内容に関する注意事項(1)個人情報について

ボーリング柱状図(PDFファイル)およびボーリング交換用データ(XMLファイル)内などには「調査会社名」と「氏名(主任技師など)」が入力されています。

内閣府の国民生活局によると、

「個人情報」とは、生存する個人に関する情報であつて、これに含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるものをいいます。氏名、性別、生年月日等がその典型例ですが、個人の身体、財産、社会的地位、身分等の属性に関する情報であつても、氏名等と一体となって特定の個人を識別できるのであれば「個人情報」に当たります。また、それだけでは特定の個人を識別できなくても、他の情報と容易に照合することができ、それにより識別が可能となる場合も個人情報に当たります。

(内閣府 国民生活局 広報資料)

とあり、個人情報保護法で規定されている「本人の同意を得ない個人データの第三者提供の原則禁止」に違反することになるため、「ほくりく地盤情報システム」に地盤情報を登録するに当たり、該当する項目は必ず削除しなくてはなりません。

該当する項目は以下の通りです。

ボーリング柱状図(PDFファイル) :

主任技師, 現場代理人, コア鑑定者, ボーリング責任者

ボーリング交換用データ(XMLファイル) :

主任技師, 現場代理人, コア鑑定者, ボーリング責任者

電子土質試験結果一覧表(PDFファイル) :

整理担当者

また、「ほくりく地盤情報システム」へ登録する地盤情報には、個人情報保護法に関する上記項目以外に、特定の組織名などが入力された項目があります。

これらの項目を「ほくりく地盤情報システム」へ登録するかどうかは、データ提供者側の任意で決定することができますが、登録情報項目の均一性等から個人情報以外の項目はなるべく削除しないことが望ましいと思われま

2. 登録する項目内容に関する注意事項(2)測地系について

2002年4月の測量法改正により、地球上の位置を緯度・経度で表すための基準がそれまでに用いられていた**日本測地系**から**世界測地系**へと変更されました。

ほくりく地盤システムは世界測地系に基づいて作られている為、柱状図も世界測地系に基づいた緯度・経度で登録する必要があります。

(1) 柱状図XMLデータ及び電子納品データの場合：

測地系の情報は、業務管理ファイル（INDEX D.XML）とボーリングXMLファイル（BED****.XML）に記入されています。

この両方の測地系の情報が必ず統一されていることを確認し、統一していない場合は、どちらか正しい測地系に修正し、統一させて下さい。

正しい例

<pre> 1 <?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?> 2 <!DOCTYPE gyomudata SYSTEM "INDE_D03.DTD"> 3 <gyomudata DTD_version="03"> 4 <基礎情報> 5 <メディア番号>1</メディア番号> 6 <メディア総枚数>1</メディア総枚数> 7 <適用要領基準>土木200408-01</適用要領基準> 8 <報告書フォルダ名/> 9 <報告書オリジナルファイルフォルダ名/> 10 <写真フォルダ名/> 11 <地質データフォルダ名>BORING</地質データフォルダ名> 12 </基礎情報> 13 <業務件名等> 14 <業務実績システムバージョン番号>4.0</業務実績システムバージョン番号> 15 <業務実績システム登録番号>0</業務実績システム登録番号> 16 <設計書コード>0</設計書コード> 17 <業務名称>平成18年度 主要地方道佐渡一周線 竹ヶ島バイパス 地下水調査業務委託</業務 18 </業務名称> 19 <住所情報> 20 <住所コード>15605</住所コード> 21 <住所>新潟県佐渡市葦場</住所> 22 </住所情報> 23 <履行期間-着手>2006-12-28</履行期間-着手> 24 <履行期間-完了>2007-03-15</履行期間-完了> 25 </履行期間-完了> 26 <業務件名等> 27 <測地系>01</測地系> 28 </測地系> 29 <境界座標情報> 30 <西側境界座標経度>1382758</西側境界座標経度> 31 <東側境界座標経度>1382800</東側境界座標経度> 32 <北側境界座標経度>0375347</北側境界座標経度> 33 <南側境界座標経度>0375345</南側境界座標経度> 34 </境界座標情報> 35 <場所情報> 36 <発注者情報> 37 <発注者機関コード>21501162</発注者機関コード> 38 <発注者機関事務所名>新潟県佐渡地域振興局</発注者機関事務所名> 39 </発注者機関事務所名> 40 <発注者情報> 41 <受注者情報> 42 <受注者名>サンコーコンサルタント株式会社</受注者名> 43 </受注者名> 44 <受注者コード>00000099</受注者コード> 45 </受注者コード> 46 <業務情報> 47 <主な業務の内容>2</主な業務の内容> 48 <業務分野コード>1212997</業務分野コード> 49 <業務キーワード>水平ボーリング</業務キーワード> 50 <業務キーワード>水理地質構造</業務キーワード> 51 <業務キーワード>代替水源</業務キーワード> 52 </業務キーワード> 53 </業務キーワード> 54 </業務キーワード> 55 </業務キーワード> 56 </業務キーワード> 57 </業務キーワード> 58 </業務キーワード> 59 </業務キーワード> 60 </業務キーワード> 61 </業務キーワード> 62 </業務キーワード> 63 </業務キーワード> 64 </業務キーワード> 65 </業務キーワード> 66 </業務キーワード> 67 </業務キーワード> 68 </業務キーワード> 69 </業務キーワード> 70 </業務キーワード> 71 </業務キーワード> 72 </業務キーワード> 73 </業務キーワード> 74 </業務キーワード> 75 </業務キーワード> 76 </業務キーワード> 77 </業務キーワード> 78 </業務キーワード> 79 </業務キーワード> 80 </業務キーワード> 81 </業務キーワード> 82 </業務キーワード> 83 </業務キーワード> 84 </業務キーワード> 85 </業務キーワード> 86 </業務キーワード> 87 </業務キーワード> 88 </業務キーワード> 89 </業務キーワード> 90 </業務キーワード> 91 </業務キーワード> 92 </業務キーワード> 93 </業務キーワード> 94 </業務キーワード> 95 </業務キーワード> 96 </業務キーワード> 97 </業務キーワード> 98 </業務キーワード> 99 </業務キーワード> 100 </業務キーワード> </pre>	<pre> 3 <ボーリング情報 DTD_version="2.10"> 4 <標題情報> 5 <調査基本情報> 6 <事業工事業名>主要地方道佐渡一周線竹ヶ島バイパス 地下水調査業務委託</事業工事業名> 7 <調査名>主要地方道佐渡一周線竹ヶ島バイパス 地下水調査業務委託</調査名> 8 <調査目的>01</調査目的> 9 <調査対象>17</調査対象> 10 <ボーリング名>BH-1(N28° E, ±0°)</ボーリング名> 11 <ボーリング総数>1</ボーリング総数> 12 <ボーリング連番>1</ボーリング連番> 13 </ボーリング連番> 14 </調査基本情報> 15 <経度緯度情報> 16 <経度_度>138</経度_度> 17 <経度_分>27</経度_分> 18 <経度_秒>58</経度_秒> 19 <緯度_度>037</緯度_度> 20 <緯度_分>53</緯度_分> 21 <緯度_秒>46</緯度_秒> 22 <取得方法コード>02</取得方法コード> 23 <取得方法説明></取得方法説明> 24 <取得精度コード> 25 </取得精度コード> 26 <測地系>1</測地系> 27 </測地系> 28 <調査位置> 29 <調査位置住所>新潟県 佐渡市 葦場</調査位置住所> 30 <コード1次>5638</コード1次> 31 <コード2次>63</コード2次> 32 <コード3次>77</コード3次> 33 </調査位置> 34 <発注機関> 35 <発注機関名称>新潟県 佐渡地域振興局 地域整備部</発注機関名称> 36 <テクリスコード>21501162</テクリスコード> 37 </発注機関> 38 <調査期間> 39 <調査期間_開始年月日>2007-01-29</調査期間_開始年月日> 40 <調査期間_終了年月日>2007-02-04</調査期間_終了年月日> 41 </調査期間> 42 <調査会社> 43 <調査会社_名称></調査会社_名称> 44 <調査会社_TEL></調査会社_TEL> 45 <調査会社_主任技師></調査会社_主任技師> 46 <調査会社_現場代理人></調査会社_現場代理人> 47 <調査会社_コア指定者></調査会社_コア指定者> 48 <調査会社_ボーリング責任者></調査会社_ボーリング責任者> 49 </調査会社_ボーリング責任者> 50 </調査会社_ボーリング責任者> 51 </調査会社_ボーリング責任者> 52 </調査会社_ボーリング責任者> 53 </調査会社_ボーリング責任者> 54 </調査会社_ボーリング責任者> 55 </調査会社_ボーリング責任者> 56 </調査会社_ボーリング責任者> 57 </調査会社_ボーリング責任者> 58 </調査会社_ボーリング責任者> 59 </調査会社_ボーリング責任者> 60 </調査会社_ボーリング責任者> 61 </調査会社_ボーリング責任者> 62 </調査会社_ボーリング責任者> 63 </調査会社_ボーリング責任者> 64 </調査会社_ボーリング責任者> 65 </調査会社_ボーリング責任者> 66 </調査会社_ボーリング責任者> 67 </調査会社_ボーリング責任者> 68 </調査会社_ボーリング責任者> 69 </調査会社_ボーリング責任者> 70 </調査会社_ボーリング責任者> 71 </調査会社_ボーリング責任者> 72 </調査会社_ボーリング責任者> 73 </調査会社_ボーリング責任者> 74 </調査会社_ボーリング責任者> 75 </調査会社_ボーリング責任者> 76 </調査会社_ボーリング責任者> 77 </調査会社_ボーリング責任者> 78 </調査会社_ボーリング責任者> 79 </調査会社_ボーリング責任者> 80 </調査会社_ボーリング責任者> 81 </調査会社_ボーリング責任者> 82 </調査会社_ボーリング責任者> 83 </調査会社_ボーリング責任者> 84 </調査会社_ボーリング責任者> 85 </調査会社_ボーリング責任者> 86 </調査会社_ボーリング責任者> 87 </調査会社_ボーリング責任者> 88 </調査会社_ボーリング責任者> 89 </調査会社_ボーリング責任者> 90 </調査会社_ボーリング責任者> 91 </調査会社_ボーリング責任者> 92 </調査会社_ボーリング責任者> 93 </調査会社_ボーリング責任者> 94 </調査会社_ボーリング責任者> 95 </調査会社_ボーリング責任者> 96 </調査会社_ボーリング責任者> 97 </調査会社_ボーリング責任者> 98 </調査会社_ボーリング責任者> 99 </調査会社_ボーリング責任者> 100 </調査会社_ボーリング責任者> </pre>
--	--

正しく統一されている

業務管理ファイル（INDEX D.XML）
下記の二桁で表記されています。

<測地系>00</測地系> 日本測地系
<測地系>01</測地系> 世界測地系

ボーリングファイル（BED****.XML）
下記の二桁で表記されています。

<測地系>0</測地系> 日本測地系
<測地系>1</測地系> 世界測地系

(2) 柱状図紙データの場合：

工事関係書類等から確認して下さい。（変換・修正方法は、P7, P8を参照）

3. 発注機関が行う登録データの事前準備について

それぞれの場合について、以下の方法に従って作業を行う。

(1) 柱状図XMLデータの場合

- 1) 登録データの選定・機関内の承認
- 2) 市販のウイルス対策ソフトでのウイルスチェック
- 3) CD-Rに保存し、データ登録依頼票チェックシート（P. 6見本、P. 9原本）とともに下記送付先へ送付する

(2) 柱状図紙データの場合

- 1) 登録データの選定・機関内の承認
※座標値（緯度・経度）が明記されている必要があります
- 2) 個人情報等のマスキング作業（P. 7参照）
- 3) スキャニング（P. 7参照）
- 4) 市販のウイルス対策ソフトでのウイルスチェック
- 5) CD-Rに保存し、データ登録依頼票チェックシート（P. 6見本、P. 9原本）とともに下記送付先へ送付する

(3) 電子納品CD-Rの場合

- 1) 登録データの選定・機関内の承認
※「地質・土質調査成果電子納品要領(案)」平成16年6月版（最新版）に原則、対応している必要があります
- 2) ウイルスチェック及び電子納品エラーチェック（エラー表示無しを必ず確認）
- 3) 電子納品データ一覧表の作成（P. 5見本、P. 10原本）
- 4) 電子納品データ一覧表、データ登録依頼票チェックシート（P. 6見本、P. 9原本）を下記送付先へ送付する

データ等の送付先

〒950-0197

新潟県新潟市江南区亀田工業団地2-3-4

北陸地盤情報活用協議会事務局 データ管理担当宛

TEL 025-381-1882 FAX 025-383-1205

【参考】

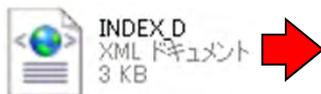
電子納品CD-R成果品の場合、各発注機関で業務発注の特記仕様書にCD-R成果品の納品枚数を1枚追加することで、CD-Rの準備作業を軽減することができるものと思われます。

※なお、送付いただいたデータは、原則、返却いたしません。

3. 発注機関が行う登録データの事前準備について【参考①】

【参考①】電子納品データ一覧表【Excel】の作成

通しNo	業務名称	設計書コード	発注者機関コード	履行期間 着手（年）	測地系
0001	一般県道鹿瀬日出谷線地方道路交付金事業地質調査委託	218550001	21501104	2006	00
0002	平成18年度 主要地方道佐渡一周線 竹ヶ鼻バイパス地下水調査業務委託	0	21501162	2006	01
0003	流防広域第14-00-00-32号二級河川前川総合流域防災(広域系)地質調査業務委託	06215081160610035	21501116	2006	01
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
0031	一般国道253号地域連携(国道改築)委託	218210020	21501111	2006	01
0032	一般県道寺泊西山線県単道路改善(側溝)地質調査業務委託	06215011090610005	21501109	2006	01



①電子納品ファイルを開く

②INDEX.Dファイルを開く

③設計書コード
業務名称
履行期間-着手（年のみ）
測地系（00or01）
発注機関コード
を電子納品データ一覧表に
コピーし、貼り付けて作成
を行う。

※通しNo. は各機関で最初に送付した
時からの通してのNo.（連番）と
する。

```

1 <?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
2 <!DOCTYPE gyomodata SYSTEM "INDE_D03.DTD">
3 <gyomodata DTD_version="03">
4 <基礎情報>
5 <メディア番号>1</メディア番号>
6 <メディア総枚数>1</メディア総枚数>
7 <適用要領基準>土木200406-01</適用要領基準>
8 <報告書フォルダ名/>
9 <報告書オリジナルファイルフォルダ名/>
10 <図面フォルダ名/>
11 <写真フォルダ名/>
12 <測量データフォルダ名/>
13 <地質データフォルダ名/>
14 </基礎情報>
15 <業務件名等>
16 <業務実績システムバージョン番号>4.0</業務実績システムバージョン番号>
17 <業務実績システム登録番号>0</業務実績システム登録番号>
18 <設計書コード>218550001</設計書コード>
19 <業務名称>一般県道鹿瀬日出谷線地方道路交付金事業地質調査委託</業務名称>
20 <住所情報>
21 <住所コード>15382</住所コード>
22 <住所>東蒲原郡鹿瀬町</住所>
23 </住所情報>
24 <履行期間-着手>2006-04-18</履行期間-着手>
25 <履行期間-完了>2006-07-10</履行期間-完了>
26 </業務件名等>
27 <場所情報>
28 <測地系>00</測地系>
29 <水系-路線情報/>
30 <境界座標情報>
31 <西側境界座標経度>1393040</西側境界座標経度>
32 <東側境界座標経度>1393041</東側境界座標経度>
33 <北側境界座標緯度>374304</北側境界座標緯度>
34 <南側境界座標緯度>374305</南側境界座標緯度>
35 </境界座標情報>
36 </場所情報>
37 <施設情報>
38 <施設名称>一般県道鹿瀬日出谷線</施設名称>
39 </施設情報>
40 <発注者情報>
41 <発注者機関コード>21501104</発注者機関コード>
42 <発注者機関事務所名>津川地区振興事務所</発注者機関事務所名>
43 </発注者情報>
  
```

3. 発注機関が行う登録データの事前準備について【参考②】

「ほくりく地盤情報システム」データ登録依頼票 チェックシート

見本

赤色が記入例

提出するデータ(チェックをつけてください)

柱状図 XML データ 柱状図紙データ (PDF データ) 電子納品形式データ一式

提出するデータに使われている測地系にチェックをつけてください。

世界測地系 (日本測地系 2000) 日本測地系 (旧日本測地系)

XML データ	削除してほしい項目にチェックをつけて下さい。				
	<p>【必ず削除する項目】 (BED****. XML ファイル内) <input checked="" type="checkbox"/>〈調査会社_主任技師〉 <input checked="" type="checkbox"/>〈調査会社_現場代理人〉 <input checked="" type="checkbox"/>〈調査会社_コア鑑定者〉 <input checked="" type="checkbox"/>〈調査会社_ボーリング責任者〉</p> <p>【必要に応じて削除する項目】 (BED****. XML ファイル内) <input type="checkbox"/>〈事業工事名〉 <input type="checkbox"/>〈調査名〉 <input type="checkbox"/>〈発注機関名称〉 <input type="checkbox"/>〈テクリスコード〉 <input type="checkbox"/>〈調査会社_名称〉 <input checked="" type="checkbox"/>〈調査会社_TEL〉</p>				
紙 データ	削除した項目にチェックをつけて下さい。				
	<p>【必ず削除する項目】 <input checked="" type="checkbox"/>〈主任技師〉 <input checked="" type="checkbox"/>〈現場代理人〉 <input checked="" type="checkbox"/>〈コア鑑定者〉 <input checked="" type="checkbox"/>〈ボーリング責任者〉</p> <p>【必要に応じて削除する項目】 <input type="checkbox"/>〈事業工事名〉 <input type="checkbox"/>〈調査名〉 <input type="checkbox"/>〈発注機関〉 <input type="checkbox"/>〈調査業者名〉</p>				
電子納品 形式 データ	削除してほしい項目にチェックをつけて下さい。				
	<p>【必ず削除する項目】 (BED****. XML ファイル内) <input checked="" type="checkbox"/>〈調査会社_主任技師〉 <input checked="" type="checkbox"/>〈調査会社_現場代理人〉 <input checked="" type="checkbox"/>〈調査会社_コア鑑定者〉 <input checked="" type="checkbox"/>〈調査会社_ボーリング責任者〉 (STLIST. PDF ファイル内) <input checked="" type="checkbox"/>〈整理担当者〉</p> <p>【必要に応じて削除する項目】 (INDEX_D. XML ファイル内) <input type="checkbox"/>〈業務実績システムバージョン番号〉 <input type="checkbox"/>〈業務実績システム登録番号〉 <input type="checkbox"/>〈設計書コード〉 <input type="checkbox"/>〈業務名称〉 <input type="checkbox"/>〈発注者機関コード〉 <input type="checkbox"/>〈発注者機関事務所名〉 <input type="checkbox"/>〈受注者名〉 <input type="checkbox"/>〈受注者コード〉 (BED****. XML ファイル内) <input type="checkbox"/>〈事業工事名〉 <input type="checkbox"/>〈調査名〉 <input type="checkbox"/>〈発注機関名称〉 <input type="checkbox"/>〈テクリスコード〉 <input type="checkbox"/>〈調査会社_名称〉 <input type="checkbox"/>〈調査会社_TEL〉 (STLIST. PDF ファイル内) <input type="checkbox"/>〈調査件名〉</p>				
特記事項					
発注機関名	○○○○○○○○				
所属部署	○○課		記入者名	○○ ○○	
TEL	***-***-****	FAX	***-***-****	E-mail	***@*****. **
					※整理番号(管理者記入)

3. 発注機関が行う登録データの事前準備について【参考③】

【参考③】紙データの場合の電子化作業

①紙の柱状図を登録するには、スキャナー等で取り込み、電子化する必要があります。

また、緯度・経度及び測地系の情報が無い柱状図は登録できませんので、**必ず確認**して下さい。

※日本測地系の場合は、P8を参考に世界測地系に変換して下さい。

②柱状図を取り込む前に、「個人情報保護法」に係わる項目と、登録者側の任意で削除できる項目をマスキングテープ等で隠す処理を行って下さい。任意で削除できる項目については、公表しても特に問題の無い場合はそのまま構いません。

※取り込み後、P.4(2)紙データの場合4)に戻る

必ずマスキングする項目：

〈主任技師〉、〈現場代理人〉、〈コア鑑定者〉、〈ボーリング責任者〉

必要に応じてマスキングする項目：

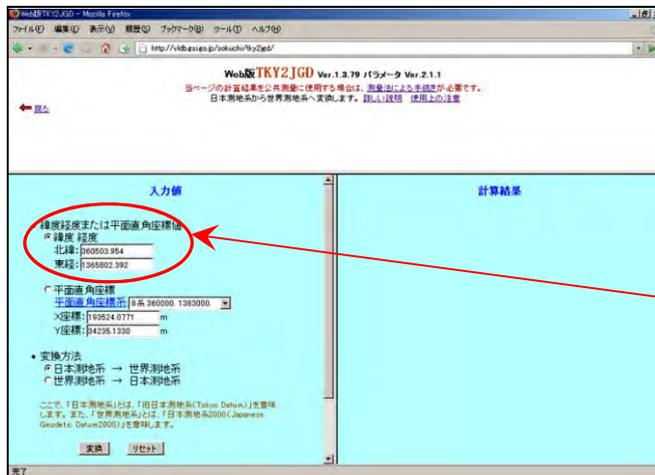
〈調査名〉、〈事業工事名〉、〈発注機関〉、〈調査業者名〉

柱状図を取り込む(スキャニング)際の留意事項

- ・ボーリング柱状図の大きさに合うように**A3サイズ**に対応したスキャナーを用いる
- ・印刷することを考慮した解像度(**150~300dpi程度**)で取り込む
- ・カラーモードは**フルカラー**、又は**グレースケールモード**に設定する
- ・深度の大きな柱状図で、**A3スキャニング**で数ページに及ぶ場合は1つのPDFファイルにまとめる
- ・作成後のPDFファイル名は「**BRG0001.PDF**」など任意の名前で保存する。
但し、日本語などの全角文字では登録できないので、必ず**半角文字**を用いること

3. 発注機関が行う登録データの事前準備について【参考④】

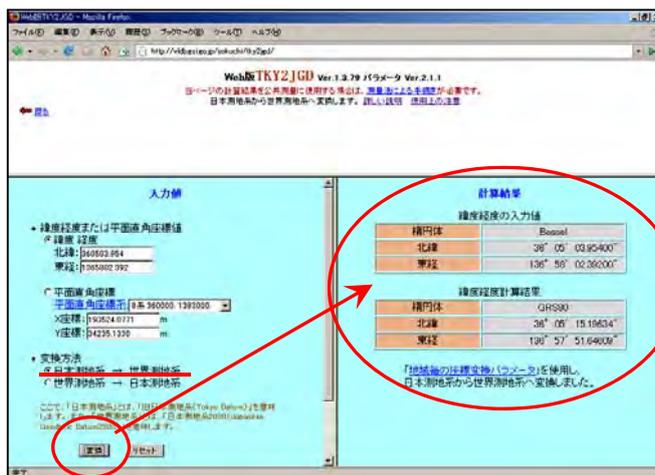
【参考④】 日本測地系から世界測地系への変換方法



①日本測地系の座標を世界測地系に変換するには、次のホームページを利用します。

<http://vldb.gsi.go.jp/sokuchi/ky2jgd/>
(国土地理院HPより)

紙から読み取った日本測地系の北緯・東経の値を入力します。



②「日本測地系 → 世界測地系」を選択し、「変換」をクリックすると右側フレーム内に計算結果が表示されます。

③計算結果の値を参照し、データを修正します。

4. 添付資料(1) 「ほくりく地盤情報システム」データ登録依頼票チェックシート

「ほくりく地盤情報システム」データ登録依頼票 チェックシート

提出するデータ(チェックをつけてください)

柱状図 XML データ 柱状図紙データ (PDF データ) 電子納品形式データ一式

提出するデータに使われている測地系にチェックをつけてください。

世界測地系 (日本測地系 2000) 日本測地系 (旧日本測地系)

XML データ	削除してほしい項目にチェックをつけて下さい。		
	<p>【必ず削除する項目】 (BED****. XML ファイル内) <input type="checkbox"/> <調査会社_主任技師> <input type="checkbox"/> <調査会社_現場代理人> <input type="checkbox"/> <調査会社_コア鑑定者> <input type="checkbox"/> <調査会社_ボーリング責任者></p> <p>【必要に応じて削除する項目】 (BED****. XML ファイル内) <input type="checkbox"/> <事業工事名> <input type="checkbox"/> <調査名> <input type="checkbox"/> <発注機関名称> <input type="checkbox"/> <テクリスコード> <input type="checkbox"/> <調査会社_名称> <input type="checkbox"/> <調査会社_TEL></p>		
紙 データ	削除した項目にチェックをつけて下さい。		
	<p>【必ず削除する項目】 <input type="checkbox"/> <主任技師> <input type="checkbox"/> <現場代理人> <input type="checkbox"/> <コア鑑定者> <input type="checkbox"/> <ボーリング責任者></p> <p>【必要に応じて削除する項目】 <input type="checkbox"/> <事業工事名> <input type="checkbox"/> <調査名> <input type="checkbox"/> <発注機関> <input type="checkbox"/> <調査業者名></p>		
電子納品 形式 データ	削除してほしい項目にチェックをつけて下さい。		
	<p>【必ず削除する項目】 (BED****. XML ファイル内) <input type="checkbox"/> <調査会社_主任技師> <input type="checkbox"/> <調査会社_現場代理人> <input type="checkbox"/> <調査会社_コア鑑定者> <input type="checkbox"/> <調査会社_ボーリング責任者> (STLIST. PDF ファイル内) <input type="checkbox"/> <整理担当者></p> <p>【必要に応じて削除する項目】 (INDEX_D. XML ファイル内) <input type="checkbox"/> <業務実績システムバージョン番号> <input type="checkbox"/> <業務実績システム登録番号> <input type="checkbox"/> <設計書コード> <input type="checkbox"/> <業務名称> <input type="checkbox"/> <発注者機関コード> <input type="checkbox"/> <発注者機関事務所名> <input type="checkbox"/> <受注者名> <input type="checkbox"/> <受注者コード> (BED****. XML ファイル内) <input type="checkbox"/> <事業工事名> <input type="checkbox"/> <調査名> <input type="checkbox"/> <発注機関名称> <input type="checkbox"/> <テクリスコード> <input type="checkbox"/> <調査会社_名称> <input type="checkbox"/> <調査会社_TEL> (STLIST. PDF ファイル内) <input type="checkbox"/> <調査件名></p>		
特記事項			
発注機関名			
所属部署		記入者名	
TEL		FAX	E-mail
			※整理番号(管理者記入)

